

白十字病院 だより

2024. 新年号 Vol.08



白十字病院 6階デイケア室

巻頭特集

心臓・弁膜症センター

チームワークの良さが心臓・弁膜症センターの強み。

TOPIC

第10回“福岡マラソン2023完走！” / 旧白十字病院は今!?

2023年11月12(日)当法人職員も数名参加しました

～まだ見ぬ建物に生まれ変わるために～

白十字病院のアートインホスピタル
わたしたちの町のホームドクター
テレビ放送のお知らせ

詳しい病院情報ホームページはこちら

<https://www.fukuoka.hakujujikai.or.jp/>





社会医療法人財団白十字会
理事長 富永 雅也



MASAYA TOMINAGA

「皆様の熱意に、乾杯！」

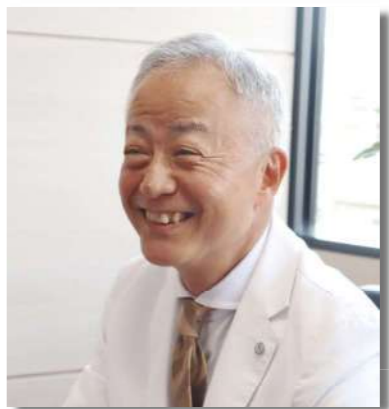
急 速に高齢化する福岡市西区・糸島市

においてどのような医療・介護需要が生じ、それをどう解決すべきかを考え続けて参りました。ニーズの増えるものの代表が、高齢者救急です。85歳以上の高齢者は福岡・糸島医療圏で2020年からの20年で3倍に増え、老々介護や高齢女性単身世帯が増増するといわれています。入院患者は85歳以上の高齢者が増え、入院数自体も増え続けます。白十字病院は救急患者受け入れ対応の強化策として、救命救急士を採用し救急車受け入れの増加に対応して参ります。激増する誤嚥性肺炎患者さんに対し、医師の指示のもと診療看護師を中心としたチーム回診にて対応して参ります。増築し、2年目を迎えた白十字リハビリテーション病院はセラピストの増員を図り、ADL評価値は上がり、病棟では夕刻の自主参加の余暇活動(コグニサイズなど)で明るい、楽しい歓声が響き渡り、素晴らしいリハビリ病院として歩を進めています。おうちに帰りたい、願いを叶える看多機「ずっと一緒に」も多くのご紹介を頂き、心温まる数々のエピソードを頂いています。

在院日数の短縮に戸惑う高齢者家庭のための安心できる「第二の病棟」「はばたき」介護離職を防ぐ介護保険サービスである所謂「定期巡回」も地域の老々介護や高齢単身世帯のご愛顧を頂ける日も近いと確信いたしております。

職員の皆様の努力により白十字会は地域になくはならない存在になりつつあります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

YASUhide FUCHINO



社会医療法人財団白十字会
白十字病院
病院長 淵野 泰秀

「病院総合力アップ」

新年明けましておめでとうございます。

コロナ禍が収束してきて、様々な制限が緩和され、大事にしていたことが自由にできる日常が戻ってきました。更に今年は晴れやかな年となることを願っています。

白十字病院は、今年の4月で新築移転して3年が経ちます。その間ずっと新型コロナウイルス感染症の対応に追われ、様々な診療制限を受けながらも、職員全員の方で乗り切ることができました。その逆境の中にも関わらず、入院患者数、救急車受け入れ件数や手術件数等は増加しました。まさに病院が大きく生まれ変わりました。

今後も新たな新興感染症、異常気象、自然災害、大型地震、戦争拡大などの心配は続きます。先行き不透明で将来の予測が困難な時代、所謂「VUCA時代」(Volatility: Uncertainty: Complexity: Ambiguity)です。更に我々医療従事者には、医療情勢の変化の荒波が押し寄せてくるのが予想されます。この厳しい時代に地域医療を守るため、我々は何をすべきか? その荒波に負けない病院総合力を上げておくことが肝要であると思います。医療体制が盤石であることはもちろんですが、医療を提供する職員の総合力が求められます。そのために我々は、医療DXによる業務効率化を推進し、「人の繋がりがある職場」、「人が育つ職場」、「働きやすい職場」を目指します。

その上で、将来に向けて、自院の役割と立ち位置をしっかり見据えつつ、職員が一丸となって地域医療を守っていききたいと思っております。皆様のご健康で、実り多き一年となりましますように祈念致します。

異業種から白十字病院に

転職してきて

(白十字病院 寄稿文)



白十字病院 事務長
吉野 典功

2013年から白十字病院で勤務して11年が経とうとしています。その間、懲りずに自転車通勤を続けています。毎日の楽しみは晩酌で、趣味は20歳から始めたサーフィンです。(最近2年ほどしていませんが)サーフィンにのめり込み、オーストラリアでサーフィンがしたいという思いが強くなり、大学を休学してオーストラリアに1年間滞在しました。滞在中はオーストラリアの東海岸を旅しながら、アルバイトをしつつサーフィン三昧の日々を送りました。1999年から2000年にかけて滞在しましたので、シドニーオリンピックも観戦して充実した日々を送ることができました。オーストラリアから帰国した後は

大学に戻り、何とか無事に卒業することができました。

卒業後は現在の仕事とは全く畑違いの仕事をしていました。最初は大手建築会社の下請けの会社で約一年半勤務し、大工の方々の手伝いや、家を建てる際に出る産業廃棄物の処理などを経験しました。その後、ベンチャー企業に出向となり、廃タイヤのリサイクル事業の研究開発に従事しましたが軌道に乗らず、その時の協力会社であった石川県小松市にある建設機械や大型観光バスなどを製造する会社に取り組みしてもらい約7年半勤務しました。在職中は、2年ごとに異なる部署を渡り歩き、いろいろな技術・知識を身に付けることができました。ものづくりの世界は

魅力的で本当に楽しかったです。しかし、リーマンショックや東北大震災が起きた影響で会社が経営不振に陥り、給料も不安定となり、その時一家の大黒柱となっていた私は転職を決意し、白十字病院で勤務させていただくこととなりました。

白十字病院では、医療事務課、資材課、施設課、新病院開設準備室を経験し、現在は病院運営の一翼を担わせていただいています。病院勤務で思うことは、これまで私が経験してきたことは全くの無駄ではなく、むしろ経験を活かすことができるということ。例を挙げると、製造業で働いていた時は、「1秒でも早くものを作り生産性を上げる」、「1gでも軽くものを作り燃費向上に努める」、「1円でも安くものを作り経費を削減する」ということが徹底されてきました。これらは、病院では、患者さんに「1日でも早く、1人でも多く社会復帰していただく」、「1床でもベッドを空けて確保し、1人でも多く受け入れる」、診療報酬算定は「1点でも算定漏れをなくし、1点でも多く加算を取得する」と置き換えることができます。まさに、白十字会の基本理念と合致する部分があります。また、製造業では問題発生時の対応として「3直3現」

が徹底されています。これは、「直ちに現場に行き」、「直ちに現物を見て」、「直ちに現時点での手を打つ」ということです。これも病院での仕事に置き換えることができます。私はいつもこれらを意識して仕事に取り組みようになっています。最後に、繰り返しになりますが、仕事において様々なことを経験することは無駄ではありません。白十字病院は2021年4月に新築移転しましたが、建物としては完成しましたが、病院機能は発展途上でまだまだ成長していきます。職員全員で様々な経験を積み、知識・技術を習得し、人間力を高め、白十字病院とともに成長していきたいと思っております。



オーストラリア(Bondi Beach)にて

今夏、当院心臓血管内科にて、不整脈に対する、根治治療として有効性があり、身体への負担も少ないカテーテルアブレーション治療を開始しました。

頻脈性不整脈治療の他の選択肢として、薬や外科治療もあります。しかし、薬での治療は簡単ですが、有効性が高くないことや継続的に服用が必要であったり、効果が長続きしない、副作用があったりなど欠点がありました。そして、外科治療では、開胸が必要となり、患者さんの身体への負担が大きく、合併症のリスクも高い傾向にありました。その点、カテーテルアブレーションによる治療方法は、脚の付け根から、心臓にカテーテルを挿入して異常な電気信号を焼き切るか凍結するため、開胸が不要で身体への負担が少ないというメリットがあります。そのため、手術後の回復期間も短く、合併症のリスクも低減されます。また、早期発見、早期治療することで不整脈を根治できる確率が各段に上がることが分かっています。

カテーテルアブレーションによる不整脈治療

不整脈に対して、根治治療として有効性があり、身体への負担も少ない、カテーテルアブレーション治療を開始。

対象となる不整脈

- 発作性上室性頻拍症 (PSVT)
- 心房頻拍 (AT) ●WPW症候群
- 心房粗動 (AFL) ●心室頻拍 (VT)
- 心房細動 (Af) ●心室性期外収縮 (PVC)

※カテーテルアブレーションは早期発見、早期治療で効果が異なります。

放っておくと…

- 心房細動による脳梗塞 (死亡・寝たきり・歩行不可)
- 心不全 ●意識消失
- 認知症 ●突然死 …などが起こる可能性があります



心臓血管内科とメディカルスタッフ

不整脈診療について

不整脈診療のエキスパートである、福岡大学病院 臨床検査医学 小川正浩教授にご協力いただきながら、一例一例丁寧に治療を行っております。なお、当院は日本不整脈心電学会不整脈専門医も在籍しており、今後はカテーテルアブレーションによる不整脈の根絶にも尽力してまいります。対象となる疾患は、主に頻脈性不整脈であり、具体的には、心房細動、心房粗動、心房頻拍、発作性上室性頻脈となります。ただ、これらの診断の如何にかかわらず、なんらかの不整脈でお困りの患者さまがおられましたら、かかりつけの医師に相談し、当院をご予約ください。チーム一同、お待ちしております。



心臓血管内科
部長 三戸 隆裕
TAKAHIRO MITO

治療のメリット

- メスを使わない
- 傷口が小さい
- 身体への負担が少ない
- 回復が比較的早い
- 根治できる可能性が高い
- 薬の服用回数が減る
- 外来通院の回数が減る

“あれ？おかしいな？”と思ったら…

弁膜症スクリーニング外来

- ☑息切れ
- ☑動悸
- ☑胸の苦しみ
- ☑むくみ
- ☑身体がだるい

このような症状がある方は、かかりつけ医にご相談ください！

紹介状をお持ちの方
コールセンター
(平日8:00~17:00)

0120-19-8912

医療機関からのご予約
地域医療連携窓口 (平日8:00~17:00)

092-834-2507 (直通)

○絶食不要
難しい検査は
しません！
○非侵襲的検査

心臓・弁膜症センター
Instagramを
はじめました！



HAKUJUJI_HEART_VALVE_CENTER



心臓・弁膜症センター
センター長 江石 清行
KIYOYUKI EISHI

皆さん、今年も仲良く頑張ってくださいませ！

白十字病院の心臓弁膜症センターは外科と内科だけではなく、チームのメンバー全員がハートチームのメンバードと思っています。できれば白十字病院以外の先生方も含めて、どこにいても、いつでも情報や意見を気軽に交換し、高いレベルの治療を患者さんに提供し、新しい治療法や治療方法を研究していきたいと思っています。

皆さん、今年も仲良く頑張ってくださいませ！



先日は、江石センター長のお誕生日でした！



チームワークの良さが心臓・弁膜症センターの強み

高度な医療を提供するために2021年4月に開設された「心臓・弁膜症センター」。心臓血管外科と心臓血管内科がタッグを組んで心臓病・弁膜症に向き合っています。高度かつ低侵襲治療で患者さんになるべく負担をかけないよう努めています。

皆さん、新年おめでとうございませう。白十字病院の心臓・弁膜症センターは今年、4年目を迎えます。

弁膜症の治療には、人工の弁など代替機械を植え込む手術が一般的ですが、白十字病院の特徴は、異物を使わずに患者さん自身の心臓弁を綺麗に修繕して正常の機能を取り戻す「弁形成術」にあります。手術数はそれほど多くありませんが、僧帽弁形成、大動脈弁形成さらに三尖弁形成と高質最先端の技術で国内外をリードしています。

神様の創造した心臓弁は人間の英知を越えて美しく、驚異の機能を有しています。形成外科の領域では「Beauty is function」という言葉が有名ですが、弁形成術は変性して形を崩した心臓弁を、美しく機能を再現する技術です。損傷した仏像を修復して魂を込める技術に近いかもしれませんね。

その為には、本来の心臓弁の形や美しさを、あるいは病変の詳細を知り尽くしておくことが必要です。鳥が羽ばたくときの動きをつぶさに調べるように、センターでは超音波やCT、MRIを心臓弁に特化して最新技術で解析して心臓弁をイメージングし、手術の設計図を作り上げていきます。私は40年以上、心臓弁を見つめ続けてきましたが、そこに宿る大切な美しさや、機能をなかなか言葉で伝えられずに

Arts in Hospital

アートインホスピタルは「ホスピタルアート」とも呼ばれ、アートの力で医療環境を癒しの空間とする取り組みです。欧米では20年以上の歴史があり盛んに取り組まれています。当院でも病院を心地よい環境にしようという取り組みを行っています。

海も山も近い自然豊かな素晴らしい場所にある白十字病院のアートコンセプトは“海と山からの頼り”
海が持つ静かな鼓動と、山の持つ力強い生命力をアートで表現しています。自然が持つ癒しと生命のエネルギーを感じてください。



6階デイケア室



5階デイケア室

“木レリーフ”

どこか懐かしさと、あたたかみを感じてもらえる木レリーフは、木材を用いて彫刻された立体的なレリーフアートです。様々な種類の木材を用いることによって作り出した抽象柄は、パズルのようで、見る者に立体的な感覚や視覚的な驚きをもたらすだけでなく、眺める面白さがあります。



ARTIST

外山 雄一

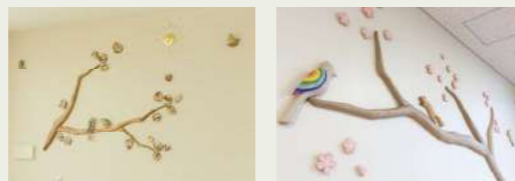
Yuichi Toyama

1952年 静岡市生まれ
現在、北海道勇払郡厚真町にて家具及びレリーフ等のオリジナル製作を行う
北海道クラフトグランプリ入選、北海道ウッドクラフト木工芸展、第6回東急ハンズ大賞展入選、伊丹クラフト展入選

<コミッションワーク 主な実績>

上厚真小学校、帯広白樺学園高校、北海道根室支庁別海合同庁舎、北海道札幌東商業高等学校、厚真中央小学校、遠別小学校、佐呂間町町立保育園、京都立命館大学新設付属小学校、名古屋JR 東海病院、第58回全国植樹祭 天皇陛下宿泊所、洞爺湖アートイベント参加

外山先生の作品



アートディレクション・写真提供：(株)Pasona art now

～ 人をつなぐ。まちをつなぐ。未来へつなぐ。～

(福岡マラソン2023ホームページより)

第10回“福岡マラソン2023”完走！

2023年11月12日(日)当法人職員も数名参加しました

福岡マラソンは、日本国内で年に一度開催される大規模なマラソンイベントの一つです。福岡市内を舞台に行われ、参加ランナーが美しい景色を楽しみながらフルマラソン(42.195キロメートル)を走る国際的なロードレースです。このマラソンは、日本陸連公認のコースで、今年は11月12日に開催されました。コースは福岡市内をスタートし、海沿いや公園、歴史的な名所などを横目に、ランナーはゴールに向かいます。また、市民ランナーからトップアスリートまで、幅広いランナーが参加し、地元のボランティアや応援団も熱心に応援する様子がとても印象的です。多くのランナーにとっては、挑戦の場であり、また地域の魅力を感じられるイベントとして人気を集めています。

当法人職員も数名参加

今回開催された“福岡マラソン2023”では、当法人職員も数名参加しました。白十

字病院ランニングクラブ「爽走会」メンバーをはじめ、医師、同じ法人内の白十字リハビリテーション病院の事務長までが無事完走しました。

ランニングクラブ「爽走会」より

自身、通算20回目のフルマラソンでした。天神スタート後、約5キロ間隔で職員の方が沿道からたくさんのご声援を掛けてくださって、前へ進む勇気とパワーを頂きました！また、道中は『白十字だ！白十字病院頑張れ！』と恐らく当院と関わりがある方からも多くのご声援を頂き、地域に根差した病院であることを実感しました。そして今回は福岡地区から9名の職員が参加し、全員完走できたことが何よりでした。皆さん天晴れです☆最後に、貴重なお休み、しかも寒い中、応援に駆けつけて頂いた皆様、誠にありがとうございました。引き続き爽走会のご支援宜しくお願い致します。 臨床工学部 部長 浦田 英明



～ まだ見ぬ建物に生まれ変わるために～

旧白十字病院は今!? - 解体編 - Ver.3

2023年4月から始まった解体作業が終盤を迎えています

前回では、まだ旧病院の姿があり、内部の解体の様子をご紹介しましたが、今回は、建物の姿がなくなる様子までをご紹介します。

解体がすすむ病院風景

10月下旬に建物の前部を大胆に崩すと、内部が露わになり、内装品や配管を丁寧に取り外す作業がおこなわれていました。作業員の方達は、それぞれが担当する箇所でもチームワークを発揮し、効率的に解体を進行させていました。また、重機のアームは建物の構造に沿って移動し、次々と各部分を撤去し、その際、周囲の建物や環境に影響を与えないよう、細心の注意が払われ、少しずつ解体作業は終盤へ…

病院の姿がだんだんと消えて

11月下旬頃には、段々と旧白十字病院の姿もなくなり始め、その光景を目に

すると、どこか寂しさが心を掠めます。旧病院の壁には、数々の物語が刻まれていたはずで、患者さんの顔や医師の熱心な姿など、それぞれの励まし合いや支え合いが、その壁に息づいていたのかもしれない。解体中の旧病院を見るといつも感じていた寂しさは、解体が進むたびに、まるで過去の一部が剥がれ落ちていくようで、何か大切なものを失うような気がしていたからかもしれません。その事に気づいた瞬間でもありました。

新しい歴史を刻むということ

12月下旬頃、何もなくなった旧白十字病院は、新しい建物に生まれ変わります。建物が生まれる喜びは、まるで過去から抜け出して、新しいものが生まれるというサイクルのような感覚で、ワクワクします。医療の歴史に感謝しつつ、まだ見ぬ建物に胸を躍らせています。





医療法人
にのさかクリニック

○内科、消化器内科、外科

“地域のかかりつけ医”として、
外来から在宅まで一貫した診療を

〒814-0171 福岡市早良区野芥4-19-34
TEL:092-872-1136

診療時間	月	火	水	木	金	土
09:00~13:00	●	●	●	●	●	●
14:00~17:00	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	×
17:00~18:00	※●	※●	※●	※●	※●	×

※17:00以降の診療につきましては、訪問診療(往診)の都合により、開始時間が遅れる場合や診療ができない場合がございます。診療ご希望の方は、事前にお電話ください。



詳しい病院情報
ホームページはこちら

駐車場あり



医療法人社団 昭友会
たなかクリニック

○内科、外科、整形外科、乳腺外科、リハビリテーション科

私達は、糸島の在宅医療を全力で
サポートします

〒819-1148 糸島市神在西1丁目1-15
TEL:092-322-2031

診療時間	月	火	水	木	金	土
外 09:00~12:30	●	●	●	●	●	●
外 13:30~17:30	●	●	×	×	●	×
内 09:00~12:30	●	●	●	●	●	●
内 13:30~17:30	●	●	×	×	●	●

※担当医が休みの日もありますので、事前にお電話でお問合せください。
※乳腺外科は予約優先となっております。土曜日の診察は確認が必要です。



詳しい病院情報
ホームページはこちら

駐車場あり



RKB毎日放送 — 2023年11月26日放送分 —
『つながる福岡』番組ホームページにて放映中!



番組QRコード

当院は、LINE WORKSを積極的に活用して、医療DXを推進しています

『つながる福岡』 毎週日曜日午後10:54~放送中
福岡でビジネスチャットを活用して、働く人どうしや取引先やお客様とつながって、DXを推進している会社を応援する番組です。デジタルの力で業務プロセスを改善し、ビジネスの競争力を高めている企業が登場します。

白十字病院
11月26日
放送分

スタッフのお気に入り

バスケットが好きです

「バスケットは…お好きですか？」
私はバスケットが大好きです。みなさんは、「スラムダンク」という漫画をご存知ですか？私がバスケットを始めたきっかけは、小学生の頃にこのスラムダンクを見てバスケットがしたい！と思い中学から始め、高校・大学まで続けました。社会人になった今でも週1回程度、趣味としてバスケットを続けています。昨年、映画化された「THE FIRST SLAM DUNK」も公開初日に観ました！

バスケットは陸上競技の中でも1、2を争う

きついスポーツと言われています。観戦する側も、試合の展開が早く、試合終了のブザーが鳴るまでどちらが勝つか分からず一瞬目が離せません。ダンクや3Pシュートなど迫力のある魅力的なプレーも多く、細かいルールを知らなくてもかっこいいプレーを見るのは、初心者でも楽しめます。

W杯2023の男子代表の試合では、格上であるフィンランドに最大18点差をつけられながら大逆転し、歴史的勝利と大変盛り上がりしました。この大会でアジア1位となり、五輪出場権を獲得したのでバリ五輪も楽しみです！女子代表も2020東京五輪で準優勝しました。

福岡のプロチームである「ライジングゼファーフクオカ」は、現在はB2リーグでプレーしており、私もライジングゼファーフクオカです。試合観戦はとても楽しいのでぜひ、一度行ってみてください！

ライジングゼファーフクオカ



いいね!

- #バスケットはお好きですか
- #バスケットを始めたきっかけ
- #バスケット観戦は一瞬目が離せない
- #ライジングゼファーフクオカ
- #スラムダンク



石井 雅子
MASAKO ISHII
栄養管理部 副主任
■出身地:鹿児島県
■趣味:バスケットボール、スポーツ観戦、旅行

スタッフの仕事

大切な職業

ほとんどの方が医療事務という職業をご存じかと思いますが。私は医療事務の専門学校へ行き診療報酬という保険請求の勉強をしました。夢があって医療事務を目指したわけではなかったのですが、学校へ行くまでは「医療事務=受付にいる人」というイメージしかありませんでした。在学中は、診療報酬請求事務能力認定試験に合格できるように日々勉強していました。2年生の時には、実際の病院やクリニックで仕事を体験する実習があり、私は白十字病院で実習することがで

きました。患者さんとの対応や学校ではあまり教えてもらってない保険証、会計など学校で勉強したことと繋がることもありましたが初めて知ることが多く、先輩方の働く姿を見て自分も頑張ろう!と思いました。

私が所属している医療事務課外来係は受付、会計、コールセンター業務をしています。いろんな問い合わせが多く幅広い知識が必要な部署と思っています。診療報酬は2年に1度改定があり、今年が改定の年です。その度にどんな改定内容なのか職員同士で勉強をしています。

医療事務は患者さんに最初と最後にたずさわる大切な職業だと思っています。病気で苦しかったり、不安な気持ちで来られるので、早く受付して診察へ案内し、診察終了後、検査等で疲れている方が多いのでお支払いが早くできるよう、会計で待たせないように心がけています。今後も受付、会計の待ち時間が少なくなるよう努めたいと思います。

医療事務課(外来)



いいね!

- #医療事務とは
- #先輩方の働く姿をみて
- #受付・会計・コールセンター
- #待ち時間が少なくなるように



松高 由佳
YUKA MATSUTAKA
医療事務課(外来)
■出身地:佐賀県
■趣味:音楽、ライブ鑑賞

外来担当医表

2024年1月1日時点

■受診受付時間/8:45~11:30(月~金曜日)

予約 / 予約の変更 / 予約の確認 (月曜~金曜/8:30~17:00)

※時間帯予約制となっております。
事前に予約受付コールセンターで予約をお願いします。

いく はくじゅうじ
0120-19-8912 (フリーダイヤル)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金	
内科	午前初診	坂上 雄紀(福大) (内分泌内科)(第1・3週) 濱田 直樹(福大) (呼吸器内科)(第2・4週)	松崎 将樹 (心臓血管内科)	矢次 博 (呼吸器内科)	堀内 俊輔 (糖尿病内科)(第1・3・5週)/ 三戸 隆裕 (心臓血管内科)(第2・4週)	矢野 雅也 (心臓血管内科)	
	糖尿病内科	午前初診	岩瀬 正典	平田 詩乃	徳田 信二	堀内 俊輔	井手 均
		午前再診	岩瀬 正典/ 井手 均/ 平田 詩乃	岩瀬 正典/ 平田 詩乃/ 高木 可南子	徳田 信二/ 堀内 俊輔/ 平田 詩乃	井手 均/ 堀内 俊輔/ 高木 可南子	岩瀬 正典/ 井手 均/ 平田 詩乃
	脳・血管内科	午前	徳永 敬介	熊井 康敬	坂井 翔建	由比 智裕	中西 泰之
		午後再診		清原 卓也(九大)	熊井 康敬		
	心臓血管内科	午前初診	矢野 雅也(第1・3・5週)/ 松崎 将樹(第1・3・5週)/ 三戸 隆裕(第2・4週)/ 板東 翔(第2・4週)	矢野 雅也	三戸 隆裕	三戸 隆裕 (第2・4内科外来兼務)	矢野 雅也 (内科外来兼務)
		午前再診		松崎 将樹 (内科外来兼務)	板東 翔 (睡眠時無呼吸外来兼務)	松崎 将樹	板東 翔
		午後再診					ペースメーカー
	消化器内科	午前	岡村 活揮	和智 博信/ 冬野 光未	井浦 登志実/ 岡村 活揮	井浦 登志実/ 冬野 光未	和智 博信
	肝臓内科	午前	内田 洋太郎	姫野 修一	内田 洋太郎 ※午前再診のみ	姫野 修一 ※午前再診のみ	
	腎臓内科	午前	酒匂 哲平	木村 廣志	酒匂 哲平	平野 直史	木村 廣志
		午後再診		腎療法選択外来 (14:00~16:00)			
	呼吸器内科	午前	濱田 直樹(福大)		矢次 博		松本 武格
		午後					
	内分泌内科	午前	坂上 雄紀(福大) (第1・3週) 千田 友紀(福大) (第2・4・5週)				萬代 幸子(九大)
		午後					
脳神経内科	午前			高橋 信敬(福大)			
血液内科	再診		後藤 真喜(福大)			中島 勇太(福大)	
もの忘れ外来	午後				入江 克実(13:00~15:00)		
精神科	午前	平野 羊嗣(九大) 高井 善史(九大)		高井 善史(九大) (8:30~13:00) (月1回:8:30~17:00)		比嘉 逸人(九大)	
	午後	平野 羊嗣(九大:月1回)					
外科	午前	谷 博樹/ 大石 純	浅生 義人/ 武富 啓能	浅生 義人/ 和田 英雄	谷 博樹/ 和田 英雄	大石 純/ 武富 啓能	
	※泌尿:第1・3木曜日午後(13:00~15:00)再診のみ						
脳神経外科	午前	林 修司	井上 亨/ 高木 友博	福田 健治 (脳血管内治療)	神崎 由起	藤原 史明 (脊椎末梢神経)	
	午後初診	藤原 史明 (脊椎末梢神経)				藤原 史明 (脊椎末梢神経)	
心臓血管外科	午前		住 瑞木/ 江石 惇一郎		住 瑞木/ 若松 佳代	徳永 峻吾(福大) ※再診のみ	
	午後		尼子 真生		尼子 真生		
乳腺外科	午前	田中 益美(福大)	松尾 文恵				
整形外科	午前	小林 知弘/ 篠原 由紀	阿南 亨弥/ 伊崎 輝昌(福大:泌尿・肩関節外来)	小林 知弘(膝・股関節外来)/ 金澤 和彦(福大)	清水 黎玖/ 篠原 由紀	阿南 亨弥/ 清水 黎玖	
形成外科	午前	眞鍋 剛	眞鍋 剛 ※再診のみ	眞鍋 剛	眞鍋 剛 ※再診のみ	眞鍋 剛	
泌尿器科	午前	吉田 一博/ 阿部 裕典	阿部 裕典/ 麻生 信太郎	吉田 一博/ 阿部 裕典	阿部 裕典/ 麻生 信太郎	吉田 一博/ 麻生 信太郎	
	午後		羽賀 宣博(福大)				
眼科	午前	藤原 恵理子	藤原 恵理子 ※予約のみ	福大医師/ 藤原 恵理子※予約のみ	藤原 恵理子 ※予約のみ	福大医師/ 藤原 恵理子※予約のみ	
歯科口腔外科	午前・午後	嶋村 知記/ 青柳 直子	嶋村 知記/ 青柳 直子/ 近藤 誠二(福大)	嶋村 知記/ 青柳 直子	嶋村 知記/ 青柳 直子/ 橋口 志保(福大)	嶋村 知記/青柳 直子/ 眞野 亮介(福大)/ 豊福 明(東京医科歯科大) ※第2週のみ	
皮膚科 ※入院患者	午後					清水 裕毅(福大)	
肺がん外来	午後		徳石 恵太(福大) ※第2・4週のみ				



社会医療法人財団 白十字会
白十字病院



〒819-8511 福岡市西区石丸4丁目3-1
TEL:092-891-2511 / FAX:092-881-4491
https://www.fukuoka.hakujyujikai.or.jp/